

## 5. 海外行政機関、国際機関の報告書の分析と主要なものの翻訳

### 5. 1 報告書の選択

今回は、最近の OECD の報告文書を中心に選択した。経済協力開発機構 (OECD) 工業ナノマテリアル作業部会 (WPMN) では本報告書第 3 項で述べたとおり、ナノマテリアル安全対策について、各国における進展状況の情報交換を行い、国際的に調和した安全対策を採るための必要な役割を果たしている。また、ナノマテリアルの物性や暴露レベルなど、様々な計測法を提案し、その方法は国際的な標準となっている。また、WPMN で行われた議論や結果については、その経過あるいは結果を OECD の報告書、「工業ナノマテリアルの安全性に関するシリーズ」の出版物として公開している。今回、この中から最近の報告書を選択した。

最初の報告書は環境安全の観点から持続可能な工業ナノマテリアルの利用を可能にするためのナノマテリアルのライフサイクル分析に関するワークショップの報告である。

二番目の報告書は運用グループ、SG6 の最終報告をまとめたものである。「工業ナノマテリアルの安全性に関するシリーズ」である ENV/JM/MONO(2012)8 の報告を引き継ぎ、結論をまとめている。三番目、及び四番目の報告書は WPMN 第 9 回及び 10 回会合で各国より報告されたナノマテリアルに関する進捗状況をまとめたものである。また企業団体組織からの報告も含まれており、最近の各国の進捗状況が把握できる。

最後の報告書は 2013 年末に米国疾病対策予防センター(CDC)の下部機関である国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) から発表されたものである。NIOSH では長年ナノマテリアルの測定法に関する研究を行ってきたが、最近では製造現場におけるナノマテリアルの暴露に関する調査を行っており、2013 年 4 月に最新情報広報 (CIB) 「カーボンナノチューブとカーボンナノファイバーの職業暴露」において、ナノカーボンの暴露限界に関する報告を行っており、今回はそれに引き続き、製造現場におけるナノマテリアルの暴露状況とその結果に基づく暴露抑制のための戦略を述べ、またその方法を勧告している。

表 5-1 翻訳対象とした報告書

文献	機関	表題	内容
1	OECD	No. 39 ENV/JM/MONO(2013)17 2013年8月6日 ENVIRONMENTALLY SUSTAINABLE USE OF MANUFACTURED NANOMATERIALS Workshop held on 14 September 2011 in Rome, Italy	工業的ナノマテリアルの環境に持続的な利用をするためのライフサイクル分析に関するワークショップでの発表と議論をまとめたもの。 ・ 一般的発表 ・ ケーススタディー（半導体、コンクリート等） ・ 分科会に分かれた議論 ・ ワークショップの結論 OECD 文書の代表として前置きなども含め全訳。
2	OECD	No. 38 ENV/JM/MONO(2013)18 2013年8月21日 Co-Operation on Risk Assessment: Prioritisation of Important Issues on Risk Assessment of Manufactured Nanomaterials - Final Report	工業ナノマテリアルのリスク評価に関する Steering group (SG6) でまとめられた文書。ENV/JM/MONO(2012)8の結果を引き継いだ最終報告である。 リスク評価の重要性について各国状況を代表から報告を受け、それに基づいた解析を行っている。それにより今後重点的に検討していく課題の優先順位をつけている。
3	OECD	No. 37 ENV/JM/MONO(2013)2 2013年2月13日 Current Developments on the Safety of Manufactured Nanomaterials - Tour de Table at the 10th Meeting of the Working Party on Manufactured Nanomaterials	第10回 WPMN 会議：加盟国より各国のナノマテリアル対策に関する以下の点について、第9回以降の進捗を報告。 ・ 法令規則、リスク評価、GLP、安全性テスト・代替法の開発、ひとの健康・環境安全に関する研究プログラム、公共、利害関係者のコンサルティング、ナノマテリアルのライフサイクルに関する研究など。
4	OECD	No. 34 - ENV/JM/MONO(2012)13 2012年9月4日 Current Developments on the Safety of Manufactured Nanomaterials - Tour de Table at the 9th Meeting of the Working Party on Manufactured Nanomaterials	第9回 WPMN 会議：加盟国より各国のナノマテリアル対策に関する以下の点について、第8回以降の進捗を報告 ・ 法令規則、リスク評価、GLP、安全性テスト・代替法の開発、ひとの健康・環境安全に関する研究プログラム、公共、利害関係者のコンサルティング、ナノマテリアルのライフサイクルに関する研究など。
5	米国 NIOSH	Nanomaterial Production and Downstream Handlign 2013年11月	ナノマテリアルの製造現場での暴露状況の詳細と暴露抑制のため取扱いについての戦略についての提言。

## 5. 2 文献の翻訳

表 5-1 に示す報告文献の翻訳を行った。それぞれの文献の最初にその要旨をまとめた。